

砕氷艦「しらせ」乗組員講話

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、9月24日（木）、足柄下郡箱根町の箱根の森小学校において行われた、環境学習（全校）に対して、砕氷艦「しらせ」乗組員の講話を行い、広報活動を行った。

この環境学習は、箱根町自衛隊協力会会長（自衛官募集相談員）の川口氏が箱根の森小学校に働きかけ、砕氷艦「しらせ」の協力を得て、乗組員の小林海曹長による「しらせ」の概要、南極について地球環境に基づいた講話が実現したものである。

特に、南極の氷が溶けたら地球の海面は70メートル上昇してしまうとのことでは児童たちは驚いていた。また、南極について〇×クイズも取り入れ、児童たちは積極的に手を挙げて回答していた。講話に合わせて、パネル、南極の氷及び石を展示して、講話終了後、生徒たちが氷と石の実物に触れた。特に氷については溶ける際に、中に圧縮されていた空気が弾けてパチパチ音が出ると言われる、南極の氷に耳を傾け聴き入っていた。

最後に先生から児童たちに対して、南極の氷が解けないように地球温暖化に関心をもって生活していくよう話しまとめとした。

小田原地域

事務所は、「様々な分野で活躍する自衛隊の姿をあらゆる機会を通じて広報していく」としている。



講話の様子

「藤沢市民まつり」で広報

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 津准陸尉）は、9月26日（土）、藤沢市駅周辺で開催された「第42回藤沢市民まつり」においてJR藤沢駅前サンパール広場に広報ブースを設置し広報活動を行った。

「藤沢市民まつり」では、藤沢市の魅力をアピールする為、ステージショー、多種多彩の屋台村、ビルの壁を利用した映画上映会、パレード等たくさんイベントが実施された。その中でも「女性の住んでみたい街アンケート」において上位にランクされることもあってか、ベビーカーによる大行進があるのがとても興味深いまつりとなっている。

藤沢募集案内所は、「藤沢市民まつり」での広報活動として募集説明コーナー、募集相談員による制服・迷彩服の試着と写真撮影、「いずも」「たかなみ」の模型を展示する等の広報活動と地域住民との交流による防衛基盤の拡充を図った。

藤沢募集案内所は、「今後も、担当地域におけるイベントに積極的に参加し、「地域との交流を図り募集成果の向上を目指す」としている。



「いずも」「たかなみ」の模型に興味津々の親子に自ら説明する本部長



敬礼する姿も凛々しく決まった子供たち

中学生の職業体験を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、10月1日（木）、横浜市立菅田中学校生徒7名に対し、海上自衛隊厚木航空基地において、「総合的な学習の時間」の一環として、職業体験の支援を行った。

当日は、どんよりとした天候ではあったが、重苦しい雲の上空に飛び上がるかのように、実際にP-3C哨戒機の操縦桿を握った生徒たちからは、「パイロットには、どうすればなれますか」など積極的に質問する声が聞かれた。また、消防服を着用して活動する体験をした。地上救難の研修においては、「自衛隊にもいろいろな仕事があることを知った」「女性でも活躍できる職場があるのを知って驚いた」等の声が多く聞かれた。

横浜出張所は、「今後も、学校と密接に連携し、積極的に職業体験を支援すること自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。



広報官の説明に熱心に耳を傾ける生徒たち



P-3C 哨戒機の前で記念撮影



自衛隊の食事っておいしいなあ！